



◎：大学を身近に感じてもらう一助に。宮崎大工学部の吉野賢二教授は、オ

ープリンキャンパスや公開講座に参加した小中高校生に、お土産でオリジナルグッズを配布している―写真。

◎：グッズは、定規やペンのほか、メモ帳、うちわなど10種類以上。研究室のメンバーが吉野教授をモデルにイラストやロゴを考案し、10年ほど前に手弁当で配り始めた。

◎：「長持ちするものを作っている」と吉野教授。児童生徒の反応は上々で、過去にグッズをもらい、同大学に進学した後も使い続ける学生もいて、その実績は折り紙付きだ。

(中城佑平)

